



# ほけんだより 10月号



2022年10月発行  
こま草保育園  
看護師

10を横にすると、まゆと目に見えるので、10月10日は「目の愛護デー」。子どもの目を守るには、感染症やけがだけでなく、「見え方の異常」にも注意が必要です。この機会に異常のサインを知りましょう。

## 小さな子どもは「見る力」も育ち盛り

赤ちゃんの目は、生後すぐはぼんやりとしか見えていませんが、その後、1歳までの時期は急速に「見る力」が発達します。3歳までには、多くの子どもが大人と同じ程度（視力1.0）まで見えるようになります。見る力（視覚）はゆるやかに発達し、6歳ごろには大人と同程度になります。

**生まれてすぐ**  
視力 0.01



明るい、暗い程度しか認識できません。

**1歳**  
視力 0.2



立体的に見る力、動くものを見る力など、視覚が急速に発達します。

**3歳**  
視力 0.8～1.0



大人とほぼ同じくらいまで視覚が育ってきます。

**5歳**  
視力 1.0



ほとんどの子どもが、大人と同じ視覚を身につけます。

## 保健行事のお知らせ

- 10月18日** 13時半～  
内科健診 丹生川診療所 土川医師
- 10月19日** 9時30分～  
歯科検診 町方歯科 水口歯科医師
- 10月25日** 13時半～(年長対象)  
歯のはかせになろう  
町方歯科 山越歯科衛生士

上記の健診をできるだけ受けていただきたいのでご都合を合わせていただくようお願いいたします。内科健診を欠席された場合は、お家の方に丹生川診療所へ健診に行ってください。

## 9月の感染症情報

### マイコプラズマ

最初は風邪・コロナ感染症に似た症状が現れ始めます。熱、全身倦怠感(たるさ)、頭痛、痰を伴わない咳などの症状が見られます。多くの園児は感染しても気管支炎ですみませんが、一部は肺炎となり重症化することもあります。

内服によって治療します。

**PCR・抗原検査は必ず園の携帯に連絡ください。**

※コドモン入力ではなく直接電話ください

※後日連絡ではなく、即時。

保育園の携帯 090-7678-6426(夜間も出ます)